

学科 学年	C4	科目 分類	文学特論 Specially Literature	講義 演習 必修	通年 2単位	学習教育 目標 1-A～E	担当	坂本 信男 Sakamoto nobuo
概要	涵養された知力・国語力を用いて、様々な世界に通ずる読書体験をし、合目的で、正確、且つわかり易い情報作成（作文、その他のプレゼンテーションを含む）の基本を学ぶ。							
科目目標 (到達目標)	言葉・表現の正確な理解から、背景の思想・発想の源・時代思潮等について、広く思考・推測する態度を養う。多くのテキストに触れて、種々の発想・表現語彙・語法の習得機会を提供し、単なる「文芸鑑賞者・国語学習者」から一歩ふみ出し、実践的に考え、発想する態度を養う。							
教科書 器材等	プリントテキスト配布。(学生の学力状況等に柔軟に対応し、より適正なテキストに差し替えることを含め、十全な指導を図る予定。)							
評価の基準と 方法	定期試験（7割）、作文・レポート（2.5割）、+演習発表；学生間相互評価（互いの理解にどれほど資することができたか。)							
関連科目								
授業計画								
第1回	「言葉・表記・論理・文章」 その潜在的仕組みと、如何に学ぶかについて							
第2回								
第3回	古代語の世界規定 (講義)							
第4回	「万葉集から」 現代日本語はどう変化したのか。それは何故か。							
第5回								
第6回	中世・過渡期の時代人に学ぶ 人生の本質							
第7回	「つれつれ草」精読 (含む；演習・発表。)							
第8回								
第9回								
第10回								
第11回	「つれつれ草」を例に、日本の文化生成と継承の実態（中世～江戸）（講義）							
第12回	作文・レポート指導							
第13回	中世人物点描（静岡東部と中世文化人・調査と発表）（演習）							
第14回								
第15回	日本の近代 近代の始発について（北村透谷・中村光夫）							
第16回	夏目漱石・寺田寅彦・内田百閒 日本近代史の一面							
第17回	漱石精読							
第18回								
第19回								
第20回	寅彦精読							
第21回								
第22回	百閒精読							
第23回								
第24回								
第25回	Terrel Miedaner精読 現代人の不安の根底							
第26回								
第27回								
第28回	メディシン・クエスト 冒険と現代科学者の生き方の一面							
第29回								
第30回	幸福論 Emile August Chartie より							
オフィス アワー	木曜以外、略、全週日。							
備考								

